

第6回：印刷・製本への発注

株式会社精興社

原稿が完成したら、次は印刷製本です。自分で印刷して製本することも不可能ではありませんが、専門家に依頼したほうが工程的にも品質的にも安心です。依頼する専門家とは、印刷会社の場合がほとんどでしょう。

自分史を取り扱う印刷会社は、顧客が印刷製本の知識がないことを前提に受注するのが普通です。そのため、発注する側（自分史の作り手）は、専門用語を知らなくても心配はありません。次のことを念頭に、印刷会社に相談してください。

- ・複数の印刷会社に見積もりを取る。
- ・どんな本にしたいのかは、見本となる本を提示する。
- ・わからないことはとことん質問する。

この3つのことに気をつければ、きっと満足できる印刷会社が見つかるはずです。

インターネット自分史講座を最後までご覧いただいた方へ

本講座を受講された皆さん。6回にわたる講座の内容を理解していただきましたでしょうか。これから自分史を書き進めていくうえでお役に立ったでしょうか。

自分史づくりにはさまざまな手法があります。本講座は、実際に自分史作りを目指している安田さんと野見山先生によるマン・ツー・マンの自分史教室を再現したものです。

「マッピング自分史」という地図による回想法と現地取材をもとに、過去の出来事や思い出を手繰り寄せて文章を書き進め、丁寧に自分史原稿を仕上げていくという「工程」を説明しています。

自分史作りは、この講座のようにまず「文章をまとめる基本知識を学ぶ」ことから始まり、次に自分が納得でき他人にも読んでもらえるような「より良い自分史原稿を書き上げ」、そしてお望みの「本の形にする」ことで完結します。

「インターネット自分史講座」を参考に、あなたらしい自分史作りに取り組んでください。この講座とは別に原稿の添削指導サービスを用意しております。400字詰め原稿用紙24枚程度（四六判16ページ）を目標に挑戦してみたいかがでしょうか。そして途中でわからなくなったら、『インターネット自分史講座テキスト』を見ながら、もう一度視聴してみてください。自分史づくりが、あなたの幸せにつながることを願っています。